



40 創立：1984.7.10/証認：1984.8.6 国際ロータリー第2660地区 大阪鶴見ロータリークラブ会報

事務所：〒540-0001 大阪市中央区城見2丁目2番22号

ホテルモントレ ラ・スール大阪

電話：06-6937-8171 ファックス：06-6937-8011

例会日：毎週火曜日 12時30分/例会場：ホテルモントレ ラ・スール大阪

会長：源 壽美子/幹事：稲垣良二/SAA：須田幸史朗

電子メール：rcosatrm@cf.mbn.or.jp

ホームページ：https://rc-osaka-tsurumi.jp/



世界に希望を生み出そう

本日の例会

〈第1808回〉 2023年11月14日(火) 本年度第14回

卓 話

クラブフォーラム 特別事業部門

担当：津野会員

●ロータリーソング

我らの生業

●ランチタイムミュージック

次回の例会

11月28日(火)

次回卓話

若者力

担当：秀島会員

前回の報告

会長インフォメーション

PRESIDENT INFORMATION

会長：源 壽美子

みなさんこんにちは！

週末のアレのアレから興奮冷めやらぬ感じではないでしょうか？

今年の日本シリーズは面白すぎて、近本選手のMVPもさる事ながら、ルーキー森下、イノゾーが素晴らしかったですね！

オリックスの山本、宮城投手もよかったです。宇多川投手の悔し泣きも自分の子どものような感じで見てました。

20代の選手ばかりで、今後も楽しみです！

今月のガバナー月信はご覧になられたでしょうか？

山崎会員がクラブ国際奉仕・社会奉仕合同委員長会議報告をされていますのでぜひ、ご覧ください。

また、当クラブのマイロータリー登録者数があと4人で100%になります。まだ、登録されていない方はぜひ登録をお願いします。

さて、ロータリーの歴史について前回まではロータリーがどうやってできて、私たちはこのロータリーの「超我の奉仕」「最もよ

く奉仕する者、最も多く報いられる」という実践哲学を理解して頂いたかと思えます。

本日は日本のロータリーの誕生 についてです。

2020年、東京ロータリークラブは100周年を迎え他ことが記憶に新しいと思います。

東京ロータリークラブ(1920年) シカゴ・ロータリークラブが創立されて15年後、日本に初のロータリークラブが誕生します。1920年(大正9年)10月、米山梅吉を初代会長として、東京ロータリークラブが創立しました。世界で 855番目のクラブでした。

1923年(大正12年)9月関東大震災が発生しました。この時、世界各地の503 のロータリークラブから総額8万 9,800ドルの義捐金・救援物資が届きました。これをもとに東京ロータリークラブは大規模な社会奉仕活動を実施します。

(震災孤児のための「ロータリーの家」建設)。日本のロータリアンが「ロータリーの力」を認識し、発展を目指すきっかけとなった出来事でした。

1928年(昭和3年)に発表された「大連宣言」は、初期の日本ロータリアンが、ロータリーの理念をよく咀嚼し日本語として表現した文書として、歴史的価値の高いものです。

日本のロータリーは、第2次世界大戦時、RIから一時離脱

(2ページに続く)

ロータリー財団月間

大阪鶴見ロータリークラブテーマ 「RE START ~人との繋がりを大切に~」

(1ページより)

(1940年)しましたが、戦後1949年(昭和24年)再びRIに復帰加盟し、米国に次ぐ第2のロータリー大国として発展します。

現在、日本全体でのクラブ数は2,216、会員数84,112人(2023年4月現在)となっています。



幹事報告

幹事: 稲垣 良二

先々週は、日本語作文コンクール・夜例会とお疲れさまでした。

先週末はRYLAが開催され、初日の開講式に参加してきました。飯山暁朗氏の基調講演でした。脳科学から多くのアスリートのメンタルコーチをされている方で、大変参考になりました。

大阪鶴見区長の例会参加が決まりました。2/6の例会にて、鶴見区の取組みについて講和頂きます。

本日は例会の後、IM3組RD実行委員会・理事会が開催されます。

11/18カイツブリ会です。よろしくお祈りします。

社会奉仕委員会報告

委員長
中森 恭平

10月1日に開催された鶴見区民まつりについての収支報告になります。

■ 予算: 260,000円

■ 鶴見区民まつり

テント・テーブル・椅子レンタル: 42,000円

うちわ2000本: 127,600円

募金箱作成/8箱: 4,400円

ポリオA2パネル/3枚: 4,950円

お弁当/24食: 11,376円

お茶水/2箱: 4,613円

保険/19名: 1,900円

=====
合計 196,839円

■ END POLIO NOW(寄付金)

=====
募金: 6,695円

※公益財団法人ロータリー財団に

エンドポリオの寄付金として入金済み

以上となりました。

ご参加・ご協力頂いた皆さま真に有難うございました。

広報・IT/会報・雑誌委員会報告

委員長
濃添 敬造

遅くなりましたが、去る10月7日に開催されました地区公共イメージ向上セミナーについて、ご報告します。

一部は先日の例会で会長からご報告をいただいておりますが、今回のセミナーは短時間で中身の濃い内容でした。マスメディアの活用等についても、現実的な試みの紹介があり参考になると思います。つきましては当日のセミナー内容につきましては、鶴見ロータリークラブのホームページに掲載させていただきますので、ぜひご覧ください。

IM3組RD実行委員会報告

委員長
山崎 修一

本日例会後、全員参加で実行委員会があります。

残り4ヶ月半となり、今回は予算と各担当委員会の今後の予定を討議します。

今後の主要予定ですが・・・

11月16日 地区ガバナー補佐会議

11月21日 地区財務委員会にて予算の承認

11月22日 会長・幹事会(燦々会)にて案内

12月上旬 第3組13クラブへの案内文メール

12月上旬 来賓の方々への案内文メール

12月上旬 パンフレット発送

これからの数ヶ月、皆様ご協力のほどお願いいたします。

😊 NIKONIKO箱 😊

¥22,000.-

累計 ¥172,000.-

秀島 会員 「唐津くんち」に行ってきました。3年振りということで、大変なにぎわいでした。阪神優勝、おめでとうございます!!

稲垣 会員 水間さん
祈願成就おめでとうございます!

水間 会員 昔、「好きやねん」と告白した女性から、38年たった今頃になって突然「私も」と言われました。夢なんではしょうか?

小栗 会員 2回欠席 申し訳ございませんでした。

田中(信)会員 ホームクラブ10回出席賞 自祝

大阪鶴見RC国際交流基金

¥3,000.-

累計 ¥82,000.-

田中(信)会員 国際奉仕委員長 菊井会員の瑞宝双光章の受賞おめでとうございます

災害支援プロジェクト

ライトミール振替9月\9,000 累計:¥1,098,539.-

卓話

イニシエーションスピーチ

担当: 岡田会員



大阪鶴見ロータリークラブへは昨年年末頃に津野さんからお誘い頂き、何度か参加させて頂きながら、今年5月に正式に入会させて頂きました。

で、入会してすぐにイニシエーションスピーチの日程について確認があり・・・本日となったわけですが。

日が迫ってくる中で・・・そもそもイニシエーションスピーチとは、何ぞや?と、慌ててネットで確認したら、経歴や職業・趣味・考え方を他の会員の皆様にお伝えして理解を深めて頂くことと記載がありましたので、少々焦りながらではありますが、まずは経歴からお話しさせて頂きます。

私は高知県で生まれました。

稼業は祖父と父が縫製工場と竹細工の工房を営んでおりました。稼業は地元では大きな規模で営まれていましたので、毎日多くの方が出入りしており、ほぼ毎夜、土佐でいう「お客」いわゆる「宴会」が催され、その宴席ではいつも祖父の膝の上が私の定位置でした。

豪快な祖父に可愛がられ、物心つく前からお酒を嗜み、宴を楽しんでいたそうです。加えて幼馴染の3人組の一人は蔵元の長男で、よく3人で蔵に忍び込み甘くて口当たりの良いお酒をこっそり飲んでいました。

学生の頃は客室乗務員が夢でしたが、高校2年に大病を患い、以後3年弱入院生活を送ることになりました。

夢を諦めないといけない挫折感と悲しみ。死への恐怖。

病棟という狭い世界でしたが、「命」と繰り広げた真剣勝負の経験が食の安全性への拘りを芽吹かせ、今の事業に繋がってきたのだと思います。

事業について語る上では、私にとって父は大変大きな存在となります。

父は夢を定め挑戦し、決して諦めない人です。

どちらかというと芸術家肌で技術者。

開発意欲が強く、梓にとらわれない想像以上の発想力でホームランを飛ばしてくれます。

3年間闘病してやっと病院から退院後に、体を社会での暮らしに慣らすことを目的に父の会社に入りました。

そこで「竹」に出会い「竹」と向き合うことになりました。

高校2年に大病をして、長い間、死を間近に感じる中で「健康」と「環境」の大切さを思い知ることとなり、限りある自分の時間軸の中で、私に何が出来るのか?と考えたときに目の前に「竹」がありました。

「竹」という植物の特性は「健康」と「環境」に対して有効ではないか?と感じ研究開発に着手しました。それが1987年、つまり37年前です。

竹の緑の表皮が削られたところから、カビが生えやすいことに疑問をもち、竹の表皮の防カビ性に着目しました。

当初は父の会社を手伝いながら、竹の有効成分の研究を独自で独学で進めて、竹の持つ有効性の実証や様々な機能特性についてのデータを積み上げていく日々でした。

ところが、縫製工場を増産のための投資を行った直後に大口納品先が突然倒産し、その結果、縫製工場も竹工房も連鎖する形で倒産してしまいました。

それからは強烈でえげつない方法での債権者の取り立てが続きました。時間と共に追い詰められ疲れ切った家族はこれ以上耐えられない。一層のこと死のうと深夜に山奥に向かいました。向かった先は、四国88か所参りの一番の難所27番札所神峰寺の更の上に神峰神社でした。

神峰神社は私たち一族にはとても縁の深い神社です。私の旧姓は清岡と言います。菅原道真の長男、菅原高見が高知に流され、その子孫が高知県安田町で清岡一族として土着したそうです。本家は高知県安田町の神峰神社のふもとにあり、代々一族と神峰神社との深い関係性があります。

その神峰神社に死に場所を求めて家族で深夜に山奥に入りました。標高も高く崖や絶壁が至る所にある暗闇の中を両親に弟と妹の家族5人が手をつなぎ神社に通じる石段を上り続けました。が、中々の距離です。昼間でも何度も休憩しながら登っていくような急こう配の難所です。

だんだん息切れがしてきた時、石段の中腹のあたりに光が見えました。

(4Pへ続く)

出席報告

11月7日【1807回】

会員数	26名	ビジター	0名
(内出席規定免除	9名)	ゲスト	0名
出席会員	17名中 12名	出席総数	17名
出席免除会員	9名中 5名	前々回	M/U 0名
出席率	17/22 77.27%	修正出席率	10月17日 69.57%

(3ページより)

暖色の燈火が点り、筆で御神燈と書かれた大きな提灯でした。家族で「あっ、提灯だ」「御神燈って書いてる」「あそこまで頑張ってるって登って御神燈のところで一休みしよう」といいながら一段一段階段を上りました。そして気が付くと神峰神社の境内に辿り着いていました。道中何処にも御神燈はありませんでしたし、提灯で照らされた場所もありませんでした。そして何度か休憩しないと上り切れないはずが休憩も無しで一気に境内に着いていたのです。

不思議な体験でした。そしてその瞬間、死を選択することは止めました。生きて成し遂げなければならぬ何かの役割があるという思いが沸き上がってきて、家族でどんなに辛くても生きようと誓い合い山を下りました。

父と事業再興に向けて動き出した矢先に何と父の技術が科学技術庁長官賞を受賞したと連絡がありました。

これをきっかけに竹工房の再興が加速出来ました。

その後、ご縁があって結婚しました。病気の影響もあって妊娠～出産は無理と諦めていましたが、有難いことに息子を授かり～色々あって離婚という人生も経験しました。

ちょうどこのタイミングで父の会社も事業パートナーと協業のため関西へ事業の拠点を移すことになり、息子連れて両親と関西に引っ越し本格的な竹事業を開始しました。

父の会社の中で私はずっと取り組んでいた竹から抽出した有効成分を抗菌剤や食品添加物の製品化を進めました。

ちょうど、0 - 157。ノロウイルス。サーズ。新型インフル、などが感染拡大ことで順調に推移しました。

竹の有効成分を活用することで細菌やウイルスの感染拡大を抑えたり、食品の賞味期限を延長させることでフードロス削減にもつながります。

事業への想いですが、学生時代の病気の経験から、家族の健康を守る母親の視点に立ち、より厳しい目で「安心」「安全」「健康」を追求していく事。これが、私たちの「心」と「行動」の源泉となるすべての活動の基本的な考えとして日々の事業活動に取り組んでおります。食品ロス削減や食品衛生などの社会の課題解決に取り組むことと並行して、地域の竹資源活用事業も推し進めました。

国内広範囲にしかも里山に生育。再生サイクルが早く循環性の未利用資源。竹公害とか荒廃竹林とか表現されている竹を産業化。雇用創出。整備竹林はCO2削減効果

地域の竹資源を活かす事業として大手商社、メーカー、地元大手企業とJVを組み進めていましたが、リーマンショックの影響から撤退を余儀なくされ、強烈な痛手を負いました。そんな中、タケックス・ラボに投資してくれていたベンチャーキャピタルの元担当部長さんと再婚することになりました。メガバンク系のベンチャーキャピタルだったのでけっこう大騒ぎになりました。そんなこんなで主人がベンチャーキャピタルを退職してタケックス・ラボにジョインしてくれ二人三脚が始まりました。。

まず手始めに推し進めたのが海外展開の経験を活かしてマレーシアへの進出でした。

成長の著しいハラル市場をターゲットにした事業展開を開始しました。

ご存知の通り、イスラム法上ではアルコールはご法度でノンハラルの代表格となっております。

調味料に含まれる超微量のアルコールも許されません。

タケックス製品は竹から有効成分を抽出する際もアルコールで抽出しますし、製品にも高濃度のアルコールが含有されておりますが、世界一厳しいと言われるマレーシアハラル認証機関であるJAKIMから直接認証を取得することが出来ました。

マレーシア工場で製造する全てのタケックス製品がハラル認証機関JAKIMから直接認証をうけてます。コロナが明けてやっと本格的に活動開始出来ました。

また2015年より 熊本で竹資源有効活用事業に取り組んで参りました。竹を調達する会社、竹を原料に建材を作る会社、竹を原料にバイオマスエネルギーを起こす会社、3社合わせて総事業費56億。政府系のファンド、地元企業、大手商社、関西電力から参画して頂きました。

私は竹バイオマスの会社を担うということで代表に就任しました。竹はバイオマス燃料としては不適合と言われてきました。素材として、含水率が高く、融点が低い。また竹に含有する塩素がボイラー配管等を腐食させるなどが原因でした。

長年竹の成分を研究してきたノウハウが竹をバイオマス原料として使用することを実現しました。

2021年度の新エネ大賞を受賞。が、熊本地震や竹の建材工場の設備にトラブル続き、加えてコロナで当初事業計画から4年遅れで事業の継続が厳しくなりました。その結果、事業の売却を進めることに。竹バイオマスの会社へは約27億の個人保証がありました。会社売却に伴ってタケックス・ラボやマレーシア事業への影響が懸念されました。悶絶するくらい苦しくて辛かったです。覚悟はしていましたが、想定以上に、ファンド、株主、参画企業、地域、自治体、取引先、金融機関、裁判所の理解の元、タケックス・ラボもマレーシア事業もほとんど無傷で22年7月に清算完了することが出来ました。

私の人生は、夢と挑戦、挫折の繰り返しでした。

ゼロからイチを生み出すは成功。人が未踏の道を切り開くこの点は我ながら大したものだと思います。が、ゼロからイチを生み出しても成功ではありません、成長させ安定させなければ何の意味もない。

ベンチャーなので大企業の経営、組織、安定性・・・これらの経験がありませんゼロからイチは出来ても一から5、5から8～10への経験がありません。

もう自分には無理か。夢と挑戦はもう終了させるべきだと考えていました。

ところが、2022年7月に竹バイオマスの清算完了した後、大変恩義のある方のお力添えで9月にタケックス・ラボは増資することが出来ました。そしてその2ヶ月後の11月には、何と8月までである上場企業の社長をされていた方がタケックス・ラボの取締役としてジョインして下さいました。共に夢と挑戦、本格的な一歩を踏み出すことが出来ました。

神峰の御神燈が、まだ何も成し遂げてないじゃないか。一段一段歩みを止めず、夢に向かって進め!と言っているような気がします。

担当:赤井会員